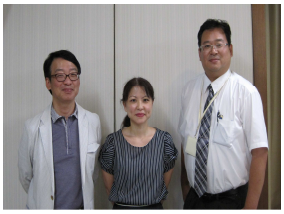
研修報告　　平成 28 年度　堺区ブロック研修　サンスクエア堺
平成 28 年８月６日（土）　　報告者　淡路　和孝

さる、平成 28 年 8 月 6 日（土）13:30～16:30 にサンスクエア堺におきまして、堺区ブロック研修**「介護支援専門員！　研究大会のキホン！」**と題し、兵庫大学の和田光徳先生による講義がありました。

その題の通り、研究の意義や、量的調査を中心とした分析の方法などを分かりやすくご説明いただきました。

和田先生は、現在大学教員という研究職に就かれておりますが、もともとはソーシャルワーカーであったこともあり、私たち現場の職員の視点に立った話が印象的でした。なお、主任介護支援専門員の更新の要件として、「研究大会への発表」とされています。今後実践研究をはじめとし、研究大会や学会発表などの機会も増えてくることが予想されます。ちなみに、この研修のサブタイトルは「発表するで！」となっていました。和田先生の講義はまさしく、サブタイトルに象徴するものであり、とても意義のある講義でした。

研修報告　　第 22 回かかりつけ医とケアマネジャーとの意見交流会　　堺市医師会館
平成 28 年８月 27 日（土）　報告者　小倉　千明



今回のテーマは**「ここが大事！医療系サービスを使うとき」**と題し、管理栄養士のベルピアノ病院の録家時子様にお越しいただきお話を聞かせていただきました。ケアマネジャーの立場としてベルタウン介護相談センターの大谷信哉様から【栄養面の課題について主治医・管理栄養士・サービス提供者連携しての例】を発表していただき、続いてベルピアノ病院　管理栄養士の録家時子先生より【在宅における栄養管理の必要性と提供手順について】事例を交えて発表していただきました。入院時や通院での栄養指導とは違った視線で、訪問ならではの栄養指導の話であり医師である池上先生からも「目からうろこ」と言われるほどとても興味深い内容でした。また、グループワークでは訪問看護師やリハビリ職などから見た栄養面での視点などを話し合い多職種連携の大切さも再確認させられるほど、有意義な研修会でした。ただ、残念なことに堺市では訪問の管理栄養士がまだまだ少ないということでした。何故少ないのか？・・・それは、需要はあるはずなのに管理栄養士による居宅療養管理指導を利用していないためとのことでした。今回の研修会に参加し、訪問による管理栄養士さんの必要性を実感致しました。

お　知　ら　せ

28 年 11 月 25 日若葉マークの事例検討会。14：00～（ベルタウンふれあいホール）
12 月　６日堺ブロック研修会『バリデーション』関西福祉科学大学　都村教授
15：00～17：00（ベルタウンふれあいホール）
29 年　１月頃　かかりつけ医とケアマネの意見交流会（堺市医師会館予定）

皆様のご参加をお待ちいたしております。

編集/発行　公益社団法人　大阪介護支援専門員協会　堺ブロック堺区支部　　情報発信部
事務局　〒590-0064　　堺市堺区南安井町 3-1-1　　TEL　072-221-7004
ベルタウン介護相談センター内　　FAX　072-221-7054